

## 令和3年度事業計画

福岡県文化芸術振興条例が制定され、公立文化施設にも社会包摂につながる取り組みが求められるなど、財団を取り巻く状況は大きく変化している。また、令和3年8月1日から14か月間のシンフォニーホールの長期休館も控えており、休館期間中には、「あらゆる人がもっと近くに感じるアクロス」、「文化の中核施設としてのアクロス」、「賑わいを発信できるアクロス」、「利用したくなるアクロス」を目指し、アウトリーチ事業の推進や県民参加の活動の場づくり、関係団体等との連携強化などの事業にしっかり取り組んでいく必要がある。

一方、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスは、今だ終息の予測ができず、当財団でも主催公演等の中止や貸館の稼働率低下など厳しい状況に置かれている。

このような中、令和3年度は、アクロス福岡の第4期指定管理期間（R3～R7）の初年度であり、新たに策定した「第5次中期経営計画」に基づき、「福岡県文化芸術振興条例」の目的である「県民の心豊かな生活及び活力ある地域社会の実現」を目指し、年齢、性別、障がいの有無、経済状況等に左右されることなく、あらゆる人が等しく文化を享受できる環境整備に一層努めていく。

### I 組織・運営

公益財団法人としてコンプライアンスを遵守し、適切な財団運営に取り組むとともに、福岡県文化芸術振興条例の目的の実現に向け組織体制の充実を図る。また、収益力の強化を図り、安定した財政基盤を整える。

#### 1 組織体制の充実

福岡県文化振興条例に沿った事業を、限られた人数で効率的・効果的に実施するため、事業企画グループと情報グループを統合するとともに、新たに広報・セールス担当を設置するなど、従来からの事業の枠組みにとらわれない、柔軟で効率的な運営ができるよう組織体制の充実を図る。

#### 2 財政基盤の強化

事務改善による効率化、事業経費節減の管理徹底により財政基盤のより一層の強化を図ると共に、長期的視野にたった効率的・効果的な広報・セールスを展開することで貸館事業、文化振興事業などにおける営業の強化を図り、収益力を高め、安定した財政基盤を整える。

#### 3 人材育成の推進

中長期的な人材育成を見据えた効果的な研修に努め、職務能力の向上を図るとともに、コンプライアンス意識の向上や「階層別研修」等を通して財団を担う人材の育成に取り組む。また、職員各自が業務目標を設定し、その結果を評価し、併せて財団が職員に求める職務能力を評価する人事評価制度の運用を通じて士気の高揚を図る。

## II 施設サービス（貸館）事業

福岡シンフォニーホール、国際会議場の長期休館を控え、イベントホール、大会議室、会議室の利用促進に取り組むとともに、休館後の学会や大規模大会の誘致についても積極的な営業誘致を図る。

また、日常的な防火・防災訓練の実施などによる防災管理体制の継続的な充実を図る。併せて「中長期修繕計画」に基づく施設の維持・保全に努め、今年度の耐震改修工事についても福岡県との密な連携を図る。

### 1 積極的な営業誘致

比較的景気に左右されない医学会・全国大会などのイベント誘致を積極的に行う。会議室について稼働率の向上を図るために、会議室併用の催事誘致に注力するとともに、収益性の高い商業展示などの誘致など、経営の安定を目指した営業活動を展開する。

- (1) 福岡観光コンベンションビューローとの連携による大学や学会事務局への訪問強化。使用方法や見積の積極的提案。
- (2) 周辺類似施設との情報交換による営業情報収集と、会議専門運営機関（PCO）との連携強化による優良顧客の誘致強化。
- (3) 収益性の高い催事の誘致強化のため、イベントホールでの商業展示などの催事の誘致促進。

### 2 利用者サービスの充実強化・利用しやすきの向上

インターネット回線など、時代に沿った顧客ニーズに対応するとともに、施設利用者及び来場者の満足度を一層高めるために質の高いサービスの向上に努める。

- (1) ニーズが高い貸出用インターネット回線の増強、拡充
- (2) 福岡シンフォニーホールのエレベーター改修工事に伴い、来客動線が変更されることから、障がいのある方や高齢者を安全で効率的に誘導できるよう、催事運営方法のとりまとめ。
- (3) 大会議室等西館施設におけるLED照明化

### 3 施設機能の充実

施設の維持管理・補修についてビル管理会社との連携を図りながら、より安全で快適な空間の提供に取り組む。

併せて「安全の確保、トラブルの防止」を基本とした保守点検の遵守、日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向けた取り組みを行う。

- (1) アクロス福岡共同防火・防災管理協議会主催の防災訓練への積極的参加
- (2) 防火・防災について、より具体的な事態を想定した財団独自の研修実施
- (3) 福岡県警の協力を得た防犯研修・防犯訓練の実施
- (4) 8月から実施される福岡シンフォニーホール、3月から実施される国際会議場の耐震改修工事や同時期に実施する大規模修繕・機器更新に向けた福岡県との連携

### III 文化振興事業

音楽・舞台芸術を中心とした文化芸術の振興を図るため、「グローバルな感動体験」、「演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成」及び「あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出」の3つの事業理念を新たに掲げ、バランスのとれた事業展開を行う。

世界的な感染症拡大の影響に注意しながら、安心安全に最大の配慮を行い、質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会の提供のほか、「福岡ジュニアオーケストラ」や「舞台芸術感動体験事業」など青少年を対象とした育成事業への取り組みも強化する。またこれまで試行してきた特別支援学校への出前授業を本格稼働させ、より多くのこどもたちへ音楽を通じた感動体験を届けていく。

また県内どこに住んでいても質の高い舞台芸術を気軽に鑑賞できるよう、「アクロス弦楽合奏団室内楽」「こどものためのオペラ」など地域へのアウトリーチ事業を展開する。

このほか、県内市町村・地元マスコミや企業・地域の文化団体のみならず、全国及び九州の類似ホールとの連携を強化し、積極的な事業を展開する。

こうした事業を通して、アクロスをより身近に感じていただけるよう取り組んでいく。

#### 《 3つの理念に基づく事業展開 》

##### ○ グローバルな感動体験

(質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会の提供)

マーラー・チェンバー・オーケストラ、神尾真由子ヴァイオリンリサイタル、新日本フィルハーモニー交響楽団など21事業を主催・共催・協賛する。

##### ○ 演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成

(次世代を担う若い音楽家とそれを支える人の育成と環境整備)

学校キャラバン事業、舞台芸術感動体験事業、ランチタイムコンサート、こどものためのオペラ、福岡ジュニアオーケストラなど22事業を主催・共催・協賛する。

##### ○ あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出

(あらゆる人が等しく文化を享受できる場として機能するため、多様な分野と協働・連携した事業を展開)

クラシックふえすた、新・福岡古楽音楽祭、ミュージアムコンサートなど18事業を主催・共催・協賛する。

#### 1 室内楽公演の充実

「福岡グランドクラシックス」「アクロス室内楽セレクション」のほか、福岡シンフォニーホールの休館時期には国際会議場を会場に室内楽公演を充実させる。

##### (1) 福岡グランドクラシックス (福岡シンフォニーホール)

春の音楽祭として「神尾真由子ヴァイオリンリサイタル」「安永徹&市野あゆみ 九響・札響の室内楽」の2公演を実施

- (2) アクロス室内楽セレクション「251年目のベートーヴェン」(福岡シンフォニーホール)  
前年度聴くことのできなかつたベートーヴェンの室内楽を堪能できる公演
  - (3) 「ラ・フォンテヴェルデ〜マドリガーレの魅力」(国際会議場)  
新・福岡古楽音楽祭の一環として実施
  - (4) アクロス弦楽合奏団クリスマスセレクション(国際会議場)  
アクロスオリジナルの楽団の中から若手奏者を中心とした室内楽公演
- 2 「こどものためのオペラ“泣いた赤鬼”」巡回公演の実施  
毎年人気の未就学児も入場できる「こどものためのオペラ」を県内2か所で実施する。  
公演では障がいをもつ子どもたちも鑑賞できるよう、事業運営を工夫する(試行)。
  - 3 「学校キャラバン事業」「学校キャラバン特別授業」の実施  
県内の小学校へヴァイオリンやフルートなどのプロの演奏家を派遣し、楽器演奏体験をメインとした出前授業を年20回実施する。また特別支援学校を対象としたパーカッションの特別授業を実施する。
  - 4 アクロス・クラシックふえすた  
クラシック音楽に気軽に親しみ、一日中家族連れで楽しめるよう、アクロス館内のホールを会場に無料のミニコンサートや音楽に関するイベントなどを開催する。  
また、企業とも連携して楽器の展示や試奏コーナーを設置し、音楽を身近に感じる空間づくりを目指す。
  - 5 「新・福岡古楽音楽祭」の実施  
県民に定着しつつある第8回目の新・福岡古楽音楽祭を同実行委員会とともに実施する。
  - 6 九州交響楽団との連携  
人気の第九の公演、ニューイヤーコンサートや定期演奏会支援及び「名曲・午後のオーケストラ」などを共催する。
  - 7 各種団体との連携強化  
公演事業に対する地域企業・団体の協賛、ボランティア団体との事業連携など地域サポート体制の一層の強化に努める。
  - 8 チケット販売新システムの導入  
福岡シンフォニーホールの休館期間中に、今後拡大すると予想されるWEB販売システムを自社運営化するため、チケット販売の新システムを導入する。  
またクラシック音楽ファンの拡大を図るため、既存の友の会に代わる制度として無料登録できるWEB会員制度を導入する準備を行う。

#### IV 情報提供事業

地域・伝統文化活動団体・者に対する活動の支援と交流の促進を図るとともに、伝統工芸や地域文化の鑑賞や体験機会を提供し、観光にもつながるよう県内各地の魅力を発信する。また、文化・情報の交流拠点施設としての特性を活かした事業展開により地域と連携し、まちのにぎわいを創出する。さらに、あらゆる人が文化に触れ発信できる機会を創出する。

広報・PR活動については、情報誌「ACROS」をはじめ、ホームページやSNSなどWEBの活用により効果的に実施する。

##### 1 伝統工芸品の普及と地域文化・生活文化の推進

- ① 国、県指定工芸品の常設展示
- ② 伝統的工芸品産地組合（組合員）による企画展及び県内を中心に活動する工芸作家企画展の開催
- ③ アクロス主催によるテーマ性を持たせた企画や日常生活における伝統工芸品の楽しみ方を提案する企画、施設の特性を活かした「伝統工芸と音楽」など新しい見せ方でインバウンドを含む幅広い人に伝統工芸品を紹介
- ④ 夏休みこども手作り体験や文化振興事業参加小学校などの社会科見学受け入れによる子どもたちの伝統工芸体験の推進
- ⑤ 次世代の匠を目指す若手の活躍を紹介する企画展により次世代の担い手を育成
- ⑥ 地域文化・伝統工芸品の魅力発信と地域回遊を促進するイベントの実施
- ⑦ 国際イベントの開催に合わせた、和太鼓や京築神楽などの伝統文化やお茶や花など衣食住に関する文化を鑑賞、体験できる機会を提供

##### 2 文化・情報の交流拠点づくり

- ① 文化芸術団体、文化施設、まちづくり団体、観光分野等との連携及びホームページ、SNSなどITを活用した文化観光情報の提供
- ② 自社文化芸術イベント情報検索サイト「アクロスおでかけナビ」により、文化芸術イベント情報をタイムリーに提供
- ③ 文化情報ラウンジにおける地域文化・生活文化イベントの開催
- ④ 九州障害者アートサポートセンターと協働して、障がいのある人のアート作品を紹介するとともに、アトラライブやワークショップを通じて、多くの方々の理解と相互交流の場を創出
- ⑤ 文化活動者、県民の文化芸術活動の支援
  - ・ 匠ギャラリー及びメッセハワイエにおける、県内を中心に活動する工芸作家、個人・団体の地域文化活動者に対する活動（作品発表）の場の提供
  - ・ コミュニケーションエリアにおける県・市町村、観光団体等に対する地域文化、観光振興のための情報発信の場の提供
  - ・ 「アクロスおでかけナビ」により、文化芸術活動を行う県民が、自身の活動を発信できる機会を提供

### 3 にぎわいづくりと地域振興・観光振興

- ① 地域文化・伝統工芸品の魅力発信と地域回遊を促進するイベントの実施(再掲)
- ② 国際イベントの開催に合わせた、和太鼓や京築神楽などの伝統文化やお茶や花など衣食住に関する文化を鑑賞、体験できる機会を提供(再掲)
- ③ インバウンドのニーズに対応したきめ細かい観光案内サービスの提供によりインバウンドの来館を増やしまちのにぎわいを創出

### 4 広報・広聴の推進

アクロス福岡の文化振興活動を県内外に向けて効果的に広報・PRするため、SNSなどを含め多様な媒体を活用する。

#### (1) 効果的な広報の実施

- ① 情報誌「ACROS」など紙媒体での情報提供を見直し、WEB展開を主軸にしなが、よりタイムリーに主催公演、文化イベントの魅力などを分かりやすく紹介するほか、ポスター、パンフレットなどを館内、地下鉄などの交通機関、文化施設などにおいて掲示、配架を行う。
- ② 定例記者発表の実施、九州各県の県政記者クラブへの投込みなど効果的なパブリシティの実施
- ③ アンケート結果やチケット購入履歴等の分析による効果的な広報の展開

#### (2) 広聴機能の充実

施設利用者や主催事業のアンケートのほか、ホームページや電話等を通じて寄せられる県民や利用者の意見などを的確に把握した上で、改善に努め、利用者の満足度の向上並びに新たな顧客確保につなげる。